N F R M A

■ オープンキャンパス

オープンキャンパススケジュール

第1回 6/17 (土) 13:00~17:00 6/18 (日) 10:00~17:00

第2回 8/4 (金) いずれも 8/5 (+) 10:00~17:00 8/6 (日)

第3回 9/23 (土·祝) 10:00~17:00

[オープンキャンパスに関するお問い合わせ] 京都嵯峨芸術大学 入試課

TEL. 075 - 864 - 7878 E – mail. nyushi@kyoto – saga.ac.jp

■ オープンキャンパスシンポジウム「熱き想いをもう一度」

- 特撮からアニメへ、

日本のヒット番組・今・昔 -

デジタルでスピーディーな現代でも、ス マートなだけでは伝わらない何か。ドラ イなだけでは伝わらない何かを持って創 造することの意義について、「ウルトラ マン」の世代から全ての世代に熱い想い を作品に込めて大衆に伝えてきたパネラ ー陣に語って頂きます。

8/4(金) 14:00~16:00 会場/京都嵯峨芸術大学 有響館

大学概要・入試概要説明

●キャンパスツアー

●実技講習(要予約)など

●ランチコーナー

●作品講評

●制作体験

●進学相談・個別相談・保護者相談

司会・パネラー

藤川 桂介 2007年度より本学客員教授 (作家・脚本家)

パネラー

飯島 敏宏(監督・プロデューサー) 福田 千秋 (映画評論家)

上原 正三(脚本家)

■ 博物館展覧会スケジュール

6/7(水)~25(日) 玩具プロデューサー

7/11(火)~16(月) メディアアート分野 学生作品展

8/4(金)~6(日) オープンキャンパス用展示 7/17(月)~23(日) 芸術学部日本画 3、4 回生展(仮)

9/4(月)~15(金) 博物館実習

10/4(水)~12(木) DATE GLASS PROJECT 8/8(火)~10(木) 3 day Report

■ ギャラリースケジュール

6/7(水)~25(日) とっとこハム太郎

河井リツ子原画展 6/28(水)~7/9(日) 第3回活き粋倶楽部展

7/11(火)~15(土) ドローイング展(仮)

7/25(火)~8/6(日) 陶芸・染織展(仮) 9/4(月)~15(金) 博物館実習

9/19(火)~24(日) fan!!drawing 9/26(火)~29(金) summer work's展

■ 二人の卒業生作品展

「二人の卒業生作品展」を開催!

京都嵯峨芸術大学は様々な分野で活躍されている多くの卒業生を輩出してきました。 そのなかでマンガ・アニメーションを中心とした分野で活躍されている漫画家「河井リツ子」さ んと、多様なフィギュアの企画・プロデュースをされている玩具プロデューサー「安斎レオ」さ んの作品展を開催します。今回「河井リツ子」さんには代表作の『とっとこハム太郎』の原画を 中心に、「安斎レオ」さんには自身がプロデュースされてきたフィギュア作品を拝借し、展示さ せていただきます。

■ 教職員展覧会情報

5/7~9/10 GLOBOS SONDA (TRIAL BALLONS) MUSAC美術館(スペイン)

江村耕市(キュピキュピとして出品)

日本新工芸展 上野の森美術館(東京) 吉水絹代・永田佳織(教務助手)

6/10~6/18 春季創画店 名古屋松坂屋美術館(愛知) 土手朋英

6/10~6/25 AZABU 10 BAN ART TEXTILE艦 元麻布ギャラリー(東京)

吉水絹代・大住由季(非常勤)

日本新工芸展 京都市立美術館(京都) 吉水絹代・永田佳織(教務助手) 7/4~7/9

7/19~7/25 日本新工芸選抜展 大丸画廊(京都) 吉水絹代

7/22~8/6 「テキスタイルの未来形」展 金沢21世紀美術館(金沢) 吉水絹代

■ 京の美意識

3年目を迎えた連続講座「京の美意識」。 各分野から一流の講師をお招きし、様々な 角度から京に根付く美意識について語って いただきます。

6月17日 (土) 「京の香り」

畑正高((株)松栄堂代 表取締役社長)

10月21日(土) 「京の織芸術」

白井進((株)龍村美術

織物取締役) 11月25日(土) 「能と京都」

橋本雅夫、橋本光史(観

世流能楽師) 12月16日(土) 「想いをカタチに」

深見陶治 (陶芸家)

2007年

1月13日(土) 「京の扇」

福井芳秀((有)十松屋 福井扇舗代表取締役)

2月17日(土) 「京の文化 - 殺陣-」

上野降三 (殺陣師)

3月24日(土)「美の工夫」

千宗守(茶道・武者小路 千家十四代家元)

[お問い合わせ先]

∓616-8362

京都市右京区嵯峨五島町1番地 京都嵯峨芸術大学 芸術文化研究所 「連続講座・京の美意識」係 TEL. 075-864-7898 (直) FAX 075-882-7770

geibunken@kyoto-saga.ac.jp

■ あらし山びこ

本学図書館の児童書コーナー設置を機会と し、近隣の小学生や児童を対象に開催する イベント「あらし山びこ」。毎回テーマを 決めて、そのテーマにまつわる絵本の読み 語りや、お話などを地域の方と交流しなが ら展開します。

6/10(土) テーマ「橋」 7/8(土) テーマ「川」 9/9(土) テーマ「月や星」

第17号

2006年6月14日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 企画広報室 発行●学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地 TEL.075-864-7859 FAX.075-882-7770 info@kyoto-saga.ac.jp

JUNE 2006 8

京都嵯峨芸術大学広報

KYOTO SAGA UNIVERSITY OF ARTS PUBLIC RELATIONS

Contribution

学園創立35年を新たな改革の契機に

京都嵯峨芸術大学 学長 三好郁朗

JUNE 2006

News

理事会報告

2006年度事業計画および収支予算

大学報告

2006年度運営体制 新規採用人事(専任教員) 2005年度卒業式 2006年度入学式

入試報告

名誉教授の称号授与 WEB履修登録について

文部科学省への新学科届出及び収容定員の変更の認可申請について



Topics

教員・在学生の活躍

大覚寺「華道祭」で作品展示 「北野のひかり」を開催 太秦ヌーヴェルヴァーグプロジェクト

学友会の活動

新入生歓迎祭

大学行事 下宿学生交流会

附属博物館企画展報告 附属ギャラリー企画展報告

Information

オープンキャンパス

オープンキャンパスシンポジウム

連続講座 京の美意識

あらし山びこ

博物館・ギャラリースケジュール

二人の卒業生作品展 教職員展覧会情報



⑥河井リツ子/小学館

大覚寺学園が「美術教育を通じて創造性の開発と人間性の涵養に努め、豊かで平和な社会の実現に貢献できる人材を育成する」ことを目標に嵯峨美術短期大学を開学して35年がたちました。草創期の学園運営に苦労された関係者のみなさん、そしてなにより、本学で学ばれ、本学での思い出を大切にしてくださっている数多くの卒業生のみなさんとともに、学園の今日の発展を心から慶びたいと思います。

この間、本学園では、2001年に四年制学部の開設に踏み切り、校名も京都嵯峨芸術大学芸術学部ならびに短期大学部と改めました。昨年は大学院の開設にもこぎ着けています。学園の拡充とともに学舎も次々と増設、一昨年は桂川沿いに獲得した第二キャンパスに瀟洒な「有響館」を新設、移設した附属図書館の一般開放、「あらし山びこ」「京の美意識」といった市民講座的催しなど、いまや地域の重要な文化センターとし

ての役割も果たしつつあります。

しかしながら、大学を取り巻く環境はますます厳しくなってきました。いわゆる少子化に歯止めがかからず、もう10年もすれば18歳人口がさらに現在の半数くらいまで落ち込むだろうと言われています。一方、大学・短大が募集する学生数は総数として減少していない。それどころか、大手の大学を中心に募集定員を増やすところさえ出ています。大小様々な私立学校が、それぞれに独自の教育理念と理想を掲げて共存してきたことこそ、教育立国としての我が国を支える大きな力であったはずですが、今後は教育の世界でも、大型総合店が小規模専門店を駆逐するような構図になるのかもしれません。

本学としても将来に強い危機感を覚えず にはおれませんが、とにもかくにも、眼前 の問題として、金の卵並みに貴重になりつ つある学生諸君にしっかりとした教育を行

学園創立35年を新たな改革の契機に

三好郁朗 京都嵯峨芸術大学 学長

い、精一杯充実した学生生活を送ってもらうことで、小なりといえども芸術教育の分野できらりと光る学園を目指し、関係者一同、心を合わせて努力するしかないと決意を新たにしています。そういう意味でも、いまここで35年の歴史を祝賀するのでなく、5年後の開学40周年あたりをめどに、学園の将来を確固たるものにする諸策を考え実行する、今年をぜひその契機にしたいと考えています。

その第一弾として、来年度、カリキュラムの編成、学生定員の配置に大きな改革を行う計画で、ただいま文科省の認可を申請中です。この「広報」がお手元に届くころには正式認可が出ていると思いますが、以下にその要点を紹介し、在学生諸君や保護者のみなさんはもちろん、広くご関係のみなさんのご理解とお力添えをお願いする次第です。

まず芸術学部では、これまでの造形学科、 観光デザイン学科とならぶ「メディアデザ イン学科」を新設、新たな学生募集(定員 50名)を行います。学部開設以来、伝統的 な美術・造形教育に加えて、メディアテク ノロジー分野での芸術表現にも力を注いで きました(メディアアート領域)が、イン ターネットをはじめとするこの領域の進展 はめざましく、急速なデジタル化が社会シ ステムに、人と人とのコミュニケーション のあり方に、ますます大きな影響を与える ようになってきました。こうした状況に芸 術の分野からどのようにかかわっていくべ きか、これからの芸術教育にとって重要な 課題となるでしょう。本学でも、これまで のメディアアート領域を核に、そうした先 進的課題と取り組む優れた人材の養成に力 を入れていきたいと思います。本学におけ る芸術教育の新たな方向性を示すものとご

理解いただければ幸いです。なお、これまで短期大学部に置かれていた工芸分野(染織、陶芸)も、同じく2007年4月から芸術学部へ移すことにしました。ただし、短期大学部の学生諸君にも、この分野を学ぶ機会はつづけて提供していきます。

芸術学部で新学科のための定員増を行い ますので、短期大学部の募集定員を250名 から200名に変更します。なお短期大学部 では、すでに今年度から大幅なカリキュラ ム改編を行っています。従来の縦割り型の カリキュラムから、より自由度を高め、学 生諸君が興味のある科目を幅広く選択履修 しながら、卒業制作に取り組もうと思う領 域へと、次第に関心を絞り、高めていく、 そういうシステムの実現を狙っています。 本学短期大学部は、いまや関西一円でも数 少ない芸術系短期大学となりました。われ われとしては、芸術教育における短期大学 課程の存在意義を強く意識しており、今後 とも短期大学部の充実に心を砕いていくつ もりです。そのためにも、若い学生諸君だ けでなく、いわゆる社会人、家庭人、ある いは第二の人生の生き甲斐として芸術を学 びたいといった方々が、現在よりずっと容 易にアプローチできるシステムを提供でき ないか、全学的な検討を進めているところ です。

本学園は、キャンパスの広さや美しさで は、残念ながらライバル関係にある諸大学 に一歩譲らざるを得ない面があるのですが、 こと教育の内容に関しては、他の大規模な 芸術系大学に比べてもけっしてひけをとら ない、本学独自の充実した芸術教育を行っ ていると自負しています。しかしながら、 激しく変化するこの時代、大学に進む若者 たちが芸術教育に何を求めているかを一層 正確に読みとり、その期待に応える教育シ ステム、教育環境の整備を目指して、今後 とも絶えず改革を進めていかねばならない と思っています。





JUNE 2006 | 2 |

理事会報告

2006年度事業計画および収支予算

2006年3月23日の理事会において、 2006年(平成18年)度事業計画案および収支予算案について審議が行われ、決定いたしました。事業計画については、概ね以下の通りですが、本学園創立40周年を目標の関連事項が主となっています。

(日)教育環境の整備

メディアデザイン学科の設置 および短期大学部改編(工芸 部門の芸術学部への移行)に より、教育環境整備を中心と した合理的なスペース配分を 行うとともに、教室、設備機 器等の充実を図る。

(月)40周年記念事業委員会

2011年(平成23年)に学園創立 40周年の佳節を迎える。「寄付 募集」「旧校舎の改修を中心と した教育環境整備」「記念誌編 纂」「記念式典」の4つの事業 計画をたて、事業室を中心に推 進していく。とくに「記念誌編 纂」にあたっては、専従の事務 局を置き、創設以来の様々な資 料等の収集にあたる。

(火)地域連携・文化事業の推進

大覚寺との共催による「京都嵯峨野文化サロン」をはじめ、連続講座「京の美意識」、「生涯学習講座」など、嵯峨野の地域性を活かした文化事業をさらに充実させていく。

(水)認証評価への対応

2006年(平成18年)度、本学芸 術学部および短期大学部ともに 第三者認証機関の評価を受ける こととしている。自己点検評価 委員会による「自己点検評価報 告書」の作成、実地審査への対応など、従来にも増して一層詳細な検証に努める。

休教職員研修の充実

教育充実、管理運営能力の向上を目指し、活発なFD、SD実施を計画する。とくに新学科設置、工芸部門四大移行後の展望、志願者の減少への対応など大学の抱える重要な課題を十分認識し、危機意識を共有するとともに、構成員それぞれのボトムアップを図っていく。

新年度予算は、短期大学部の入学者が大幅に減少したことをうけ、

教育研究経費と管理経費の一部を 縮小するなど、一定の方策が必要 となりました。予算編成基本方針 にも明記されていますが、学生募 集への弛まぬ努力、学生数の確保 (ドロップアウトの抑止)、予算 主義の徹底、不急の支出抑止など、 構成員間の基本的な意識共有が重 要だと考えます。学生生活満足度 を向上させるためにも教育環境へ の配慮など、福利厚生面を重視し た対応が必要です。厳しい状況で すが学園創立40周年にむけて、希 望をもって進んでいきたいと考え ます。以下に「2006年(平成18年) 度資金収支予算書 | を付します。

2006年(平成18年)度資金収支予算書				
収入の部		支出の部		
科目	2006度予算☑	科目図	2006予算	
学生生徒等納付金収入⊠	1,700,750,000	人件費支出	X 125,142,000	
手数料収入⊠	32,140,000	教育研究経費支出	¾ 46,514,000	
寄付金収入□	6,000,000	管理経費支出	₹71,030,000	
補助金収入⊠	169,286,000	借入金等利息支出	፟፟፟፟፟፟9,118,000	
資産運用収入⊠	295,000	借入金等返済支出	№ 86,596,000	
事業収入⊠	7,932,000	設備関係支出	X 9,309,000	
雑収入⊠	24,753,000	その他の支出	№ 0,626,000	
前受金収入⊠	669,150,000	[予備費]	2 0,000,000	
その他の収入図	33,678,000		\boxtimes	
資金収入調整勘定⊠	△756,035,000	資金支出調整勘定☑	△39,382,000	
前年度繰越支払資金	2042,166,434	次年度繰越支払資金	⊠031,162,434	
収入の部合計	3 930,115,434	支出の部合計図	3,930,115,434	

卒業生および修了生子女入学金免除について

2月24日(金)の理事会において、「卒業生子女の入学金免除規程」が定められました。これにより、本学を卒業または修了された方のご子女が、本学に入学される場合、入学手続き時の申し出により入学金が全額免除されます。この規程は2007年4月の入学生から適用されます。

NEWS

大学報告

2006年度運営体制

2006年度の各種運営、教学、附属施設、研究機関の体制が、下記の通り編成されました。

執行部体制(運営協議会) 🛛
学長⊠	三好郁朗 教授
芸術学部長⊠	箱崎睦昌 教授
短期大学部長⊠	黒川彰夫 教授
教務部長₩	桑田政美 教授
入試部長⊠	増田洋 教授
学生部長⊠	北村正己 教授
企画広報室長	有岡保行 教授
総務部長 🛛	午居隆平 事務局長
教学	体制区
造形学科長図	宇野和幸 助教授
観光デザイン学科長	金氏脩介 教授
大学院研究科長⊠	箱崎睦昌 教授(兼任)

造形学科長 図	字野和幸 助教授
見光デザイン学科長[金氏脩介 教授
大学院研究科長⊠	箱崎睦昌 教授(兼任)
€術学科長⊠	北村正己 教授(兼任)
厚攻科長☑	吉水絹代 教授
構義部門長□	中森洋子 教授
€術工芸部門長⊠	北村正己 教授(兼任)
デザイン部門長⊠	藤本秀樹 教授

附属機関、	研究機関体制⊠
図書館長⊠	黒川彰夫 教授 (兼任
博物館長⊠	林潤一 教授

事務局の異動ならびに昇格人事 が実施されました。(2006年4月1 日付)

事務局人事⊠		
森野茂		
(前総務課係長、昇格)		
松本透		
(前入試課係長、昇格)		
新谷隆寿		
(前キャリア支援課係長、昇格)		
神原滋		
(前キャリア支援課長)		

大学報告

名誉教授の称号授与

前年度3月末に定年退職を迎えられた、大竹仁子先生、川口凱正 先生、辻信夫先生に名誉教授の称 号が授与されました。(2006年4 月1日付)

新規採用人事(専任教員)

下記の教員が2006年4月1日付に て着任されました。

芸術学部造形学科 江村耕市 助教授



キュピキュピ、オー! マイキー、アートショ ップ、ドローイング、 アニメーション、ライ ブペインティング、グ

ラフィックデザイン、ワークショップ、テキスタイルデザイン、エッチング、ミニコミ誌、文章、アジア・ヨーロッパ放浪、ケービング等、いろいろやってきましたがまだまだです。これからが大切だと思っています。皆さんと一緒に、焦らずに・怠けずに・モチベーションの維持を大切に。そして十二分に刺激しあいましょう。きっと楽しい。

芸術学部造形学科 佐藤文郎 助教授



着任後ひと月が経過 し、皆さんの活力や 優しさに触れて少し ずつペースを掴んで きました。今後はフ

ランス語や人文系の講義を通して を構築して を構築される空間(?)を構築さ のつ、学生の皆さんの元気ををている に引き出していきたいと考えくいます。まずは予備知識がななとまずは 理解できる講義を心がけて志すに も、出来る限りの応援とサポート を展開したいと思います。皆せている の積極性に大いに期待を寄せています。どうぞよろしく。

短期大学部美術学科 竹中らんこ 助教授



マンガ家の竹中らんこです。マンガこそ自分にぴったりの表現手段と信じ、自己メッセージをマンガ

に託して描き続けてきました。 仕事としてマンガを若い人たち に教えるようになってから心がけているのは、絵でストーリーを語ることの楽しさを実感してもらうことです。

山あり川あり古都の歴史ありの 素敵な環境のもとで、学生達とマンガ創りに励み、一人ひとりのピカッと光る個性を見逃さず伸ばしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

短期大学部美術学科 安起瑩 講師



来日して6年、東京 の芸大で博士学位を 取得するまで様々な 苦難がありました。 しかし、奨学財団や

大学そして学校の先生方に支えられ、その苦難を乗り越えることができました。そして、今年から歴史古い京都の嵐山にある本大学の教員として勤められることに大変感謝しております。これからも日本と母国(韓国)で学び経験した全を生かし、教育や研究に励みたいと思っております。よろしくお願いします。

短期大学部美術学科 清瀧裕子 講師



専門は臨床心理学です。臨床心理士の資格を持っていますので、これまで、研究の傍ら、中学校や大

学、医療機関等でカウンセラーとして勤務してきました。春からは、本校で教壇に立つだけではなく、相談員として学生の相談にものっています。一人ひとりに実りの多い学生生活を送ってほしいと思いつつ、私自身も、学生に刺激を受けて学んでいきたいと思っています。

JUNE 2006 4

5

大学報告

2005年度卒業式

京都嵯峨芸術大学ならびに京都 嵯峨芸術大学短期大学部の2005年 度卒業式を2006年3月20日に執り 行いました。なお、2005年の学校 教育法改正により、短期大学部卒 業者には短期大学士の学位が授与 されます。

各学科の卒業者数は、以下のと おりです。

- ○京都嵯峨芸術大学 造形学科 - 104名 観光デザイン学科 - 51名
- ○京都嵯峨芸術大学短期大学部 美術学科-253名 専攻科(修了)-50名 計458名



2006年度入学式

京都嵯峨芸術大学ならびに同短 期大学部、大学院の2006年度入学 式を4月4日に執り行いました。入 学者数は、下記のとおりに確定し ています。



- ○京都嵯峨芸術大学大学院 芸術研究科芸術専攻-6名
- ○京都嵯峨芸術大学(芸術学部) 造形学科

1年次入学生-95名 3年次編入学生-8名 観光デザイン学科 1年次入学生-44名

3年次編入学生 - 2名 ○京都嵯峨芸術大学短期大学部

1年次入学生-219名 専攻科

美術学科

1年次入学生-48名

入試報告

2007年度は、芸術学部メディアデザイン学科(届出手続中)の開設や、造形学科の再編が予定されています。芸術学部においては、入試種別によって学科併願や造形学科内の併願制度の導入を検討しており、また試験科目や時間の変更も予定しています。試験の詳細については、8月にでの入試要項にてご確認ください。

2006年度入試結果

	学科	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
造形学科	日本画	107	107	44	2.4
	油画	86	83	67	1.2
	版画	30	30	24	1.3
	メディアアート	49	49	35	1.4
	彫刻	18	18	15	1.2
観光デザ	イン学科	112	108	88	1.2
合計		402	395	273	1.4

短期大学部				
分野	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
美術分野	91	87	85	1.0
デザイン分野	175	169	143	1.2
合計	266	256	228	1.1

6

WEB履修登録について

今年度の履修登録から、2回生 以上を対象としてWeb履修登録 を実施しました。

今回、学生の協力などにより事前検証を実施してトラブル等の防止に努めましたが、想定外のミスにより学生諸君に迷惑をおかけしてしまいました。

今回の登録に際しては、Webかのアクセス環境が無い学生を対象に本学の情報処理演習室㈱及び監、第5演習室の3教室を会よりを記し、また、それぞれにインストラクターを配置し、操作等の補助を行いましたが、まの15%程度のからなく、対象者の15%程度をあるとことが、昨今のインターをは少なくが、昨今のインターをようですが、昨今のインターネット回線の普及を実証している数値です。

なお、他の大学においても急速に導入が進んでいるWeb履修登録には、学生と大学双方にメリットがあり、システム会社と十分に協議した上で改良し今後もWeb履修登録を推進していきます。

文部科学省への新学科届出 及び収容定員の変更の 認可申請について

2007年4月開設予定のメディアデザイン学科の設置について、4月末に文部科学省へ設置の届出と、これに伴う芸術学部の収容定員増の認可申請を行いました。また、短期大学部の定員減も合わせて届出いたしました。正式な認可は7月頃の予定です。詳細については今後本学ホームページ、広報誌等で順次ご紹介していきます。

産学連携の協定を締結

地域の産学連携を推進し、地域 中小企業及び地域社会の発展に貢献することを目的として、2006年 4月付で、中小企業金融公庫と産 学連携の協定を締結いたしました。

教員・在学生の活躍

大覚寺「華道祭」で作品展示

4月14日(金)~16日(日)の3 日間、大覚寺で実施された「華道 祭」にあわせて本年も芸術学部と 短期大学部の学生作品を賛助出品 いたしました。平面と立体の総数 約30点の作品は、華やかな「華道」 にも負けずそれぞれが自己主張し、 色々の作風が混在し、花とはやや 異質な取り合わせになりましたが、 そのことがかえって面白い効果に 繋がり、会場を緊張感で包みまし た。とりわけ立体作品は唐門前の 白砂とのコントラストが映え、伝 統と現代アートとの融合が図れま した。今後、生花と作品とのコラ ボレイトなども企画していきたい と思います。

「北野のひかり」を開催

3月22日(水)京都市上京区にある京都府立こども文化会館において、仁和小学校の生徒が「北野」をテーマに描いた絵を灯篭に映して展示するライトアップイベント「北野の光」が開催されました。このイベントは北野商店街振興組合からの依頼を受けて、本学観光デザイン学科イベントゼミ生が企画・運営を行いましたが、、KBSの二ユースでも取りあげられるなど、方気溢れるイベントとなりました。



太秦<mark>ヌーヴェル</mark>ヴァーグ プロジェクト

4月29日(土)、本学AVホールで学生制作映画「分別」の試写会が行われ、関係者や地域住民の方など、約100名の来場者に公開されました。この映画は、造形学科の三宅章介教授が中心となった動で主なった大きに蓄積された映画を発いたで、第4というでは、地元大きの記録する会」の方に指導いただき、、学生が制作したものです。また、昨年度太秦レーヴェルバーグプロジェクトとと事業の認定を受けており、京都市より補助金が交付されています。

学友会の活動

新入生歓迎祭

4月15日(土)、学友会主催により新入生歓迎祭が講堂と学生ホールで催されました。クラス対抗の綱引きと、新入生、在学生、食堂の方達がそれぞれ出展するフリーマーケットが行われました。新入生の参加人数は100名前後で綱引きの熱戦が行われたので、準決勝へと進むにつれ異様な程の盛り上がりを見せました。終了に行ったアンケートの結果も、「ないった」、「面白かった」という感想が多数を占めました。

大学行事

下宿学生交流会

4月22日(土)、本学の地下食 堂で、学生課主催により下宿して いる新入生を対象とした下宿学生 交流会を開催しました。新入生の 下宿生43名が参加し、本学学生食 堂(不二家商事)の方と、5名の 強力な先輩下宿学生の協力を得て、 仲良しビンゴ(氏名等を聞いてカ ードを埋めていくゲーム)、食堂のチーフとスタッフによる料理指導コーナー、先輩への質問コーナー等、パン、ケーキ、ジュースを食べながらの楽しい交流会となりました。

附属博物館企画展報告

前期 清水六兵衞五代・六代の世界 一炎への旅路ー 後期 「京繍の伝統美と技法」

2007年度より、芸術学部造形学 科に工芸分野(陶芸・染織)が移 行されることを記念し二つの展覧 会を開催しました。前期展は京都 の清水焼を代表する陶芸家、清水 六兵衞の作品を展示する「清水六 兵衞五代・六代の世界 - 炎への旅 路-」を開催、後期展として「京 繍の伝統美と技法」と題した平安 時代から伝わる京繍の美しさや技 術を紹介しました。あわせて前期 展では中ノ堂一信氏の講演会を、 後期展では西山高市氏の京繍の技 法の実演会を開催し、両展覧会を 通じて 1000人以上の入館者があり ました。

附属ギャラリー企画展報告

第2回収蔵品展 ーハンガ展ー

本学の博物館にて収蔵されている版画作品の展覧会が、4月1日(日)より4月27日(木)までの23日間、本学附属施設であるギャラリー(アートスペース嵯峨)において開催しました。

開学以来30数年間にわたり収集された作家の作品の中より、世界的に有名なものから本学の卒業生の作品まで幅広く選りすぐり33点を展示しました。入館者数は565人を数え、特に学生達の入館者数が65%を占め、教育的観点からも有意義なものとなりました。

JUNE 2006